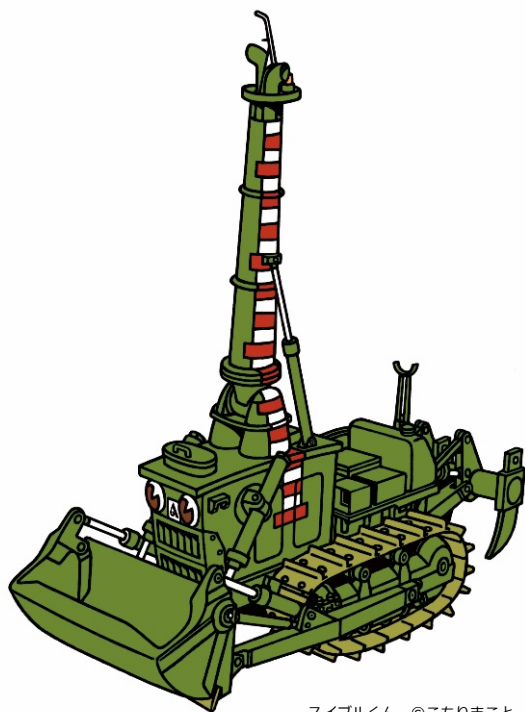


2025年3月期決算説明資料



スイブルくん ©こもりまこと

青木あすなろ建設株式会社
2025年5月

□ 2025年3月期決算概要 ③～⑫

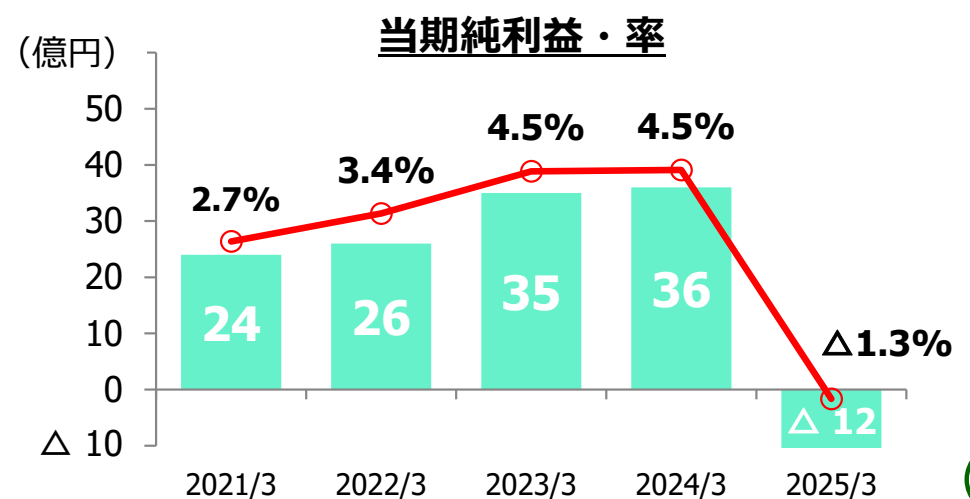
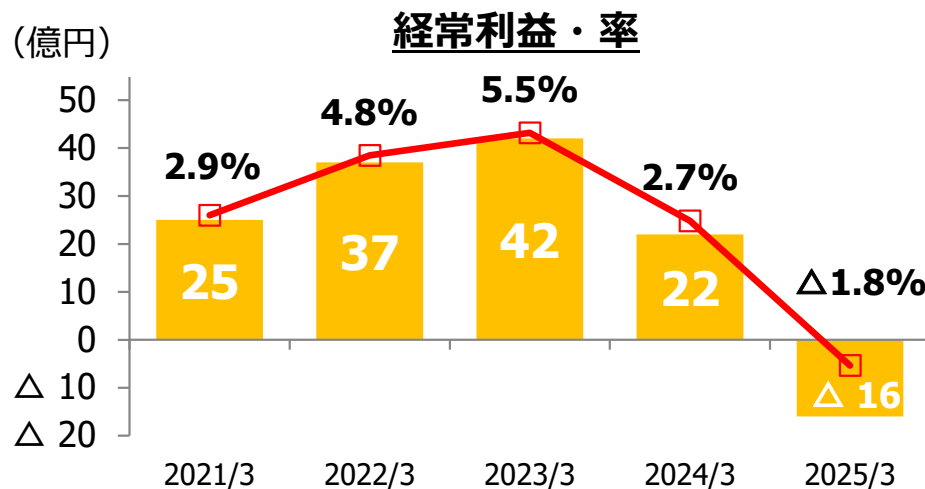
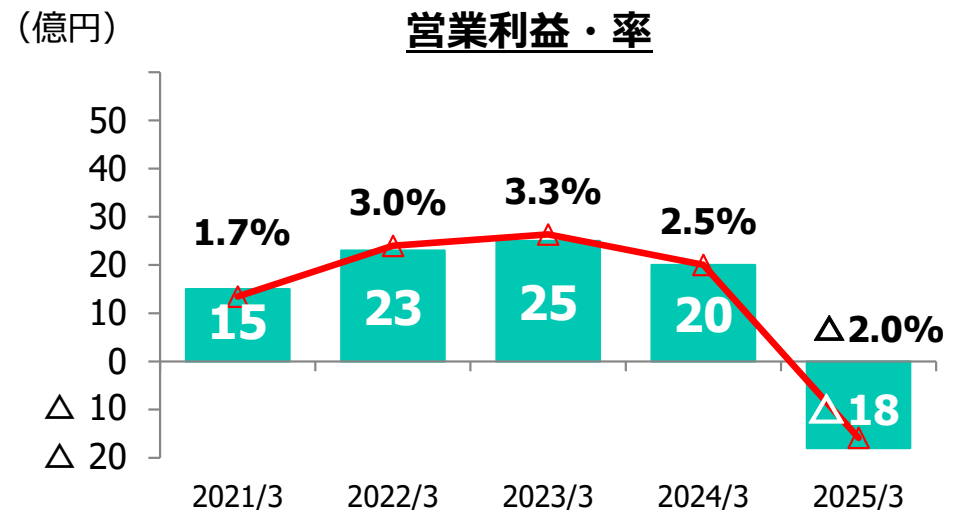
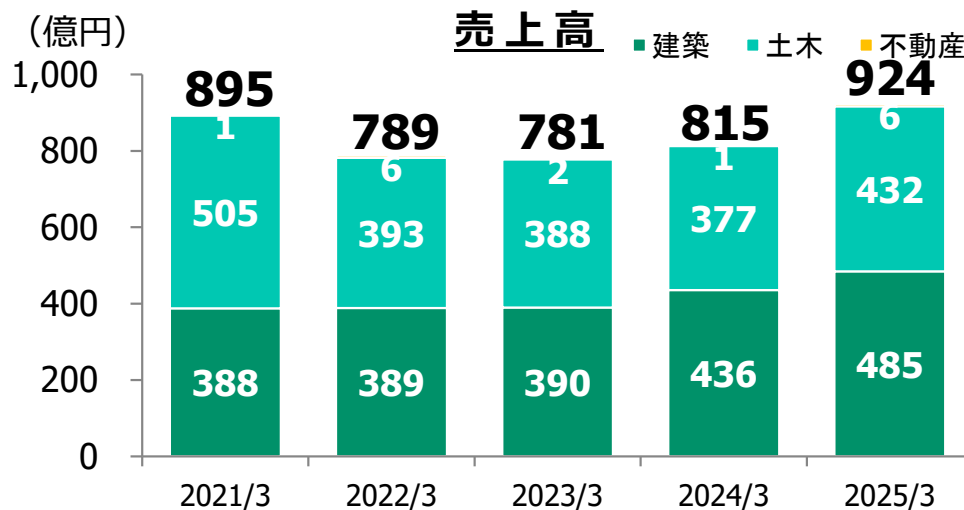
□ 2026年3月期年度経営計画概要 ⑬～⑯

□ トピックス（大阪・関西万博出展に向けた取組み） ⑰

2025年3月期決算概要

- 売上高は豊富な手持工事が順調に進捗し、前期比増収となったものの、営業利益・経常利益・当期純利益は民間建築工事の一部で資機材価格高騰にかかる設計変更協議が難航し、採算が大幅に悪化したしました。

(億円未満切捨)

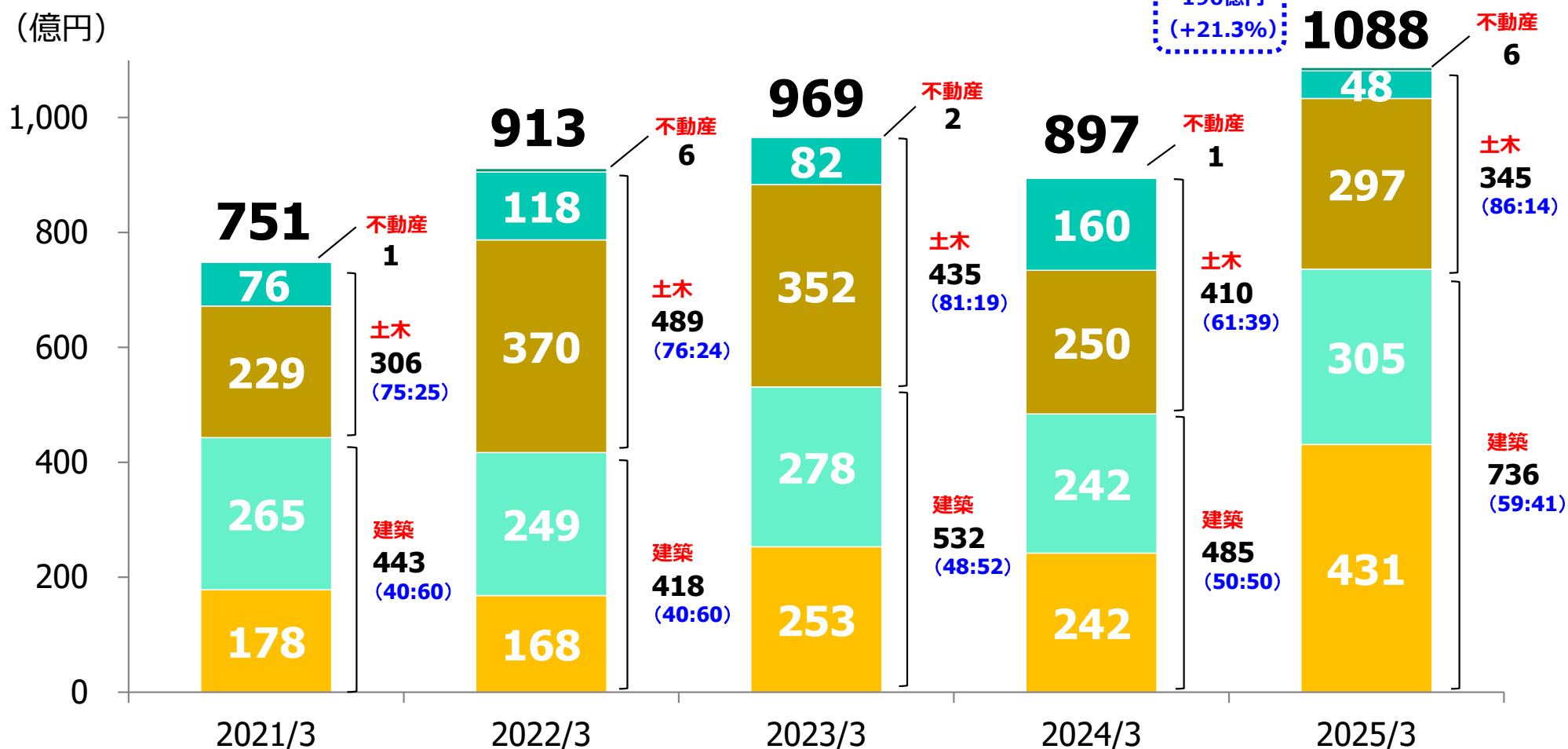


■ 建築は官庁・民間ともに複数の大型案件の受注により増加し、建築全体では前期比251億円(51.8%)の増加。土木は主に大型民間工事の期ずれ等により、前期比65億円(△16.0%)の減少。全体では190億円(21.3%)増加し、過去最高となりました。

■ 建築(官庁) ■ 建築(民間) ■ 土木(官庁) ■ 土木(民間) ■ 不動産

(億円未満切捨)

() は官庁：民間の受注比率を示す。

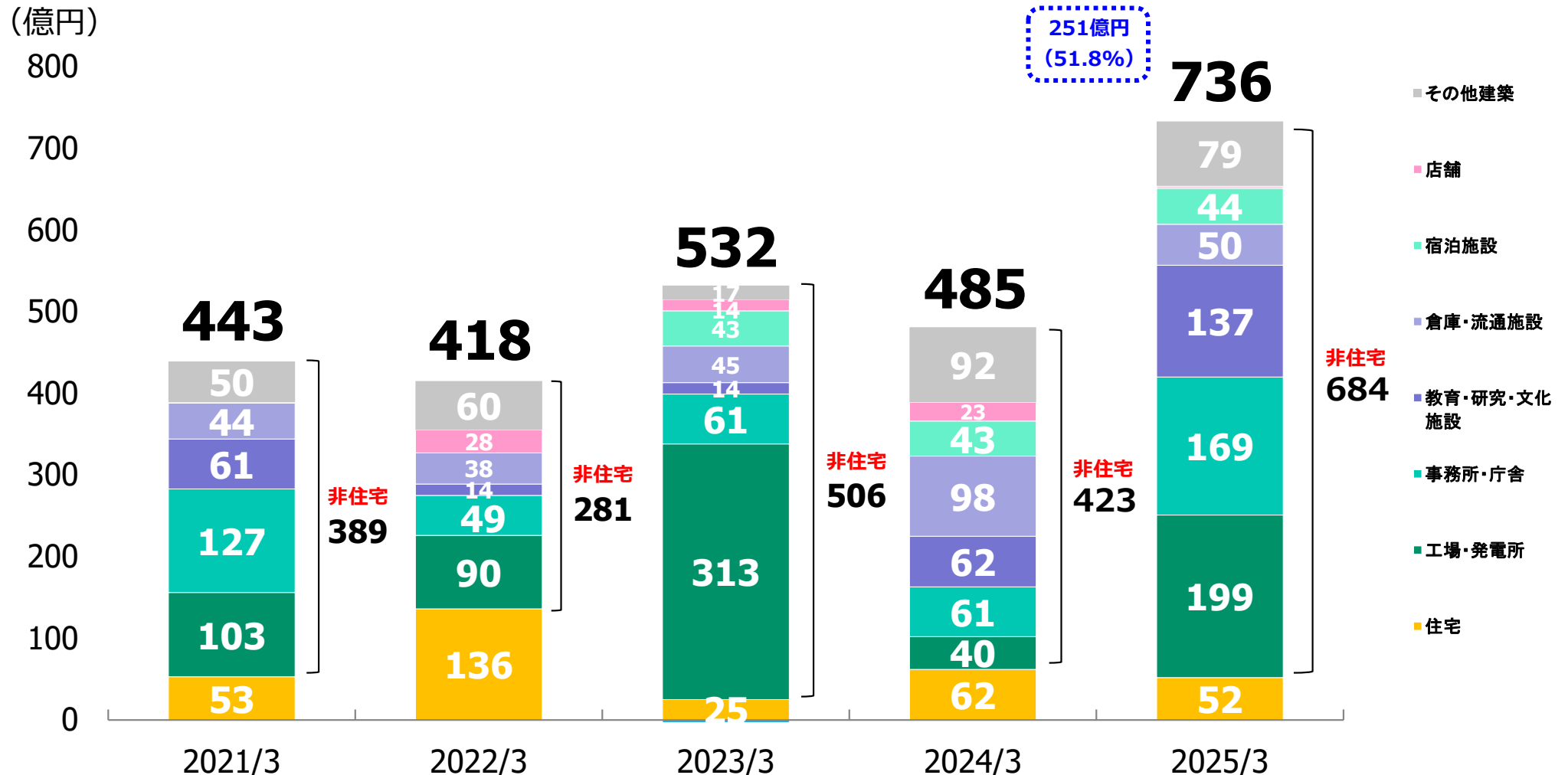


- 非住宅分野は大型リサイクル施設、複数の防衛局庁舎の受注により、全体で大幅に増加。
住宅分野は減少したが、建築全体では前期比251億円（51.8%）の増加。

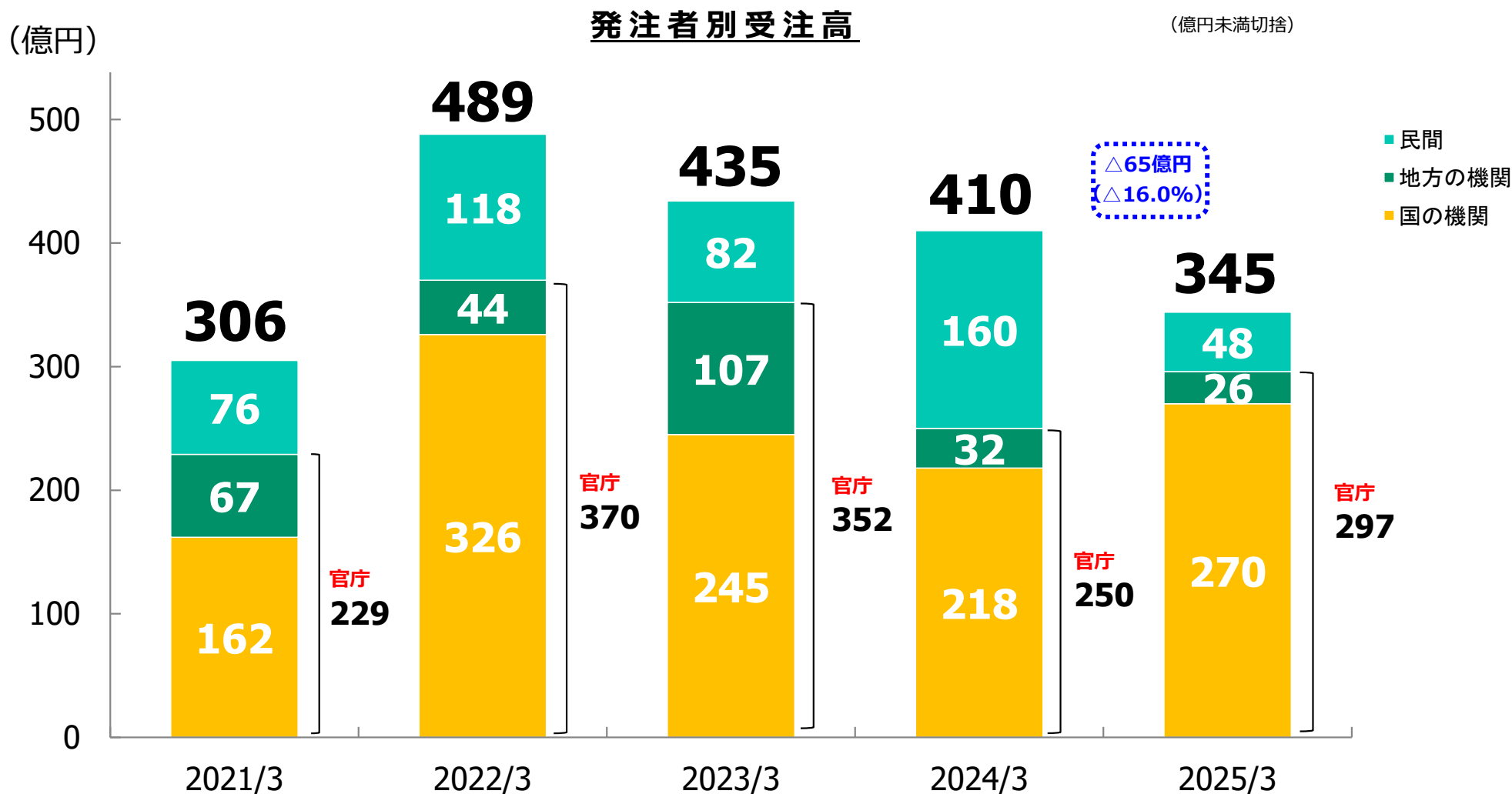
10億円未満の分野は数値の記載を省略。

用途別受注高

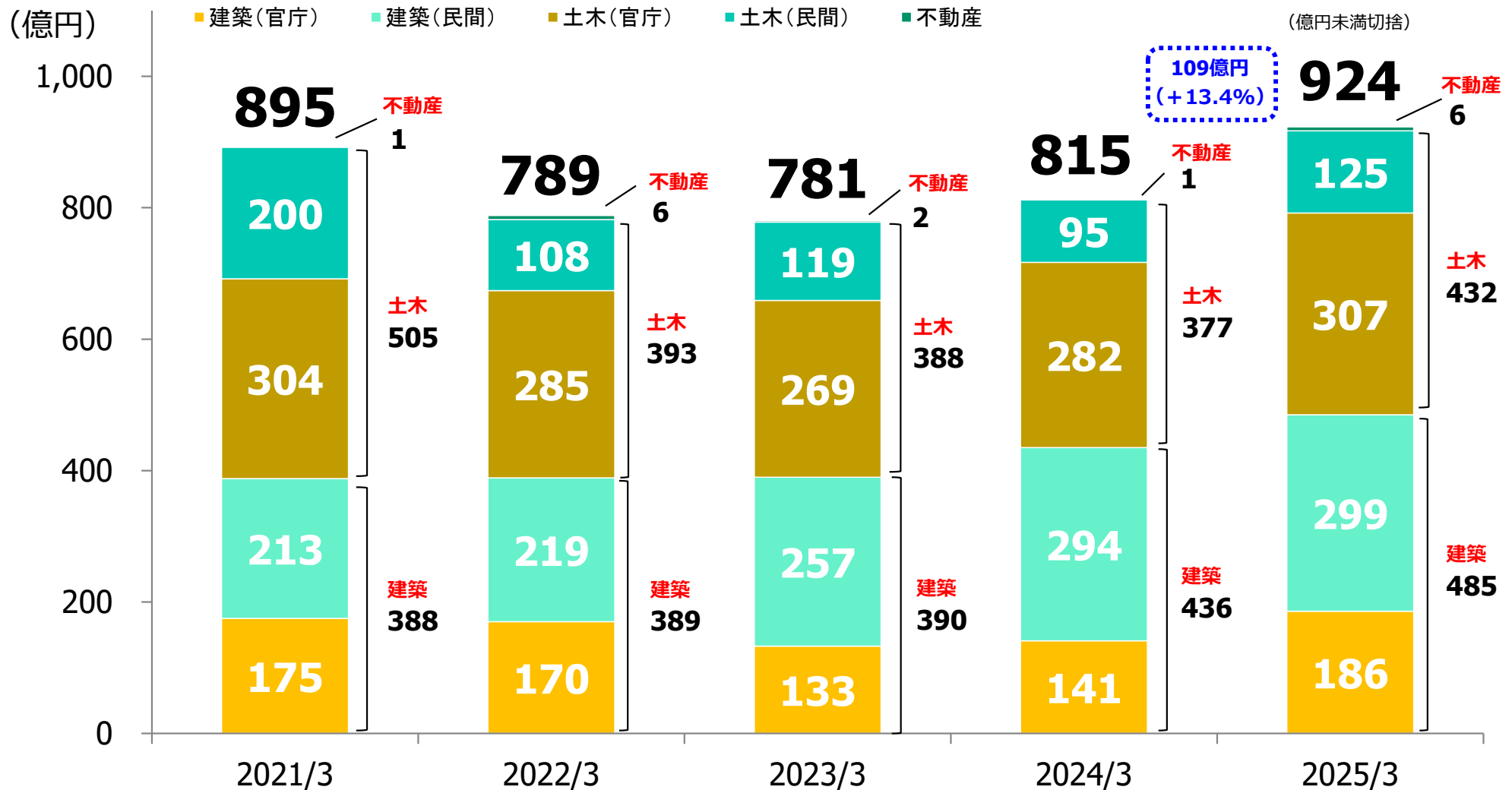
（億円未満切捨）



- 官庁は中央官庁が増加したが地方官庁は減少、民間は主に大型工事の期ずれ等により減少し、土木全体では前期比65億（△16.0%）の減少。



- 建築・土木ともに手持工事の順調な進捗により前期比増収。全体では前期比109億円 (13.4%) の増収。

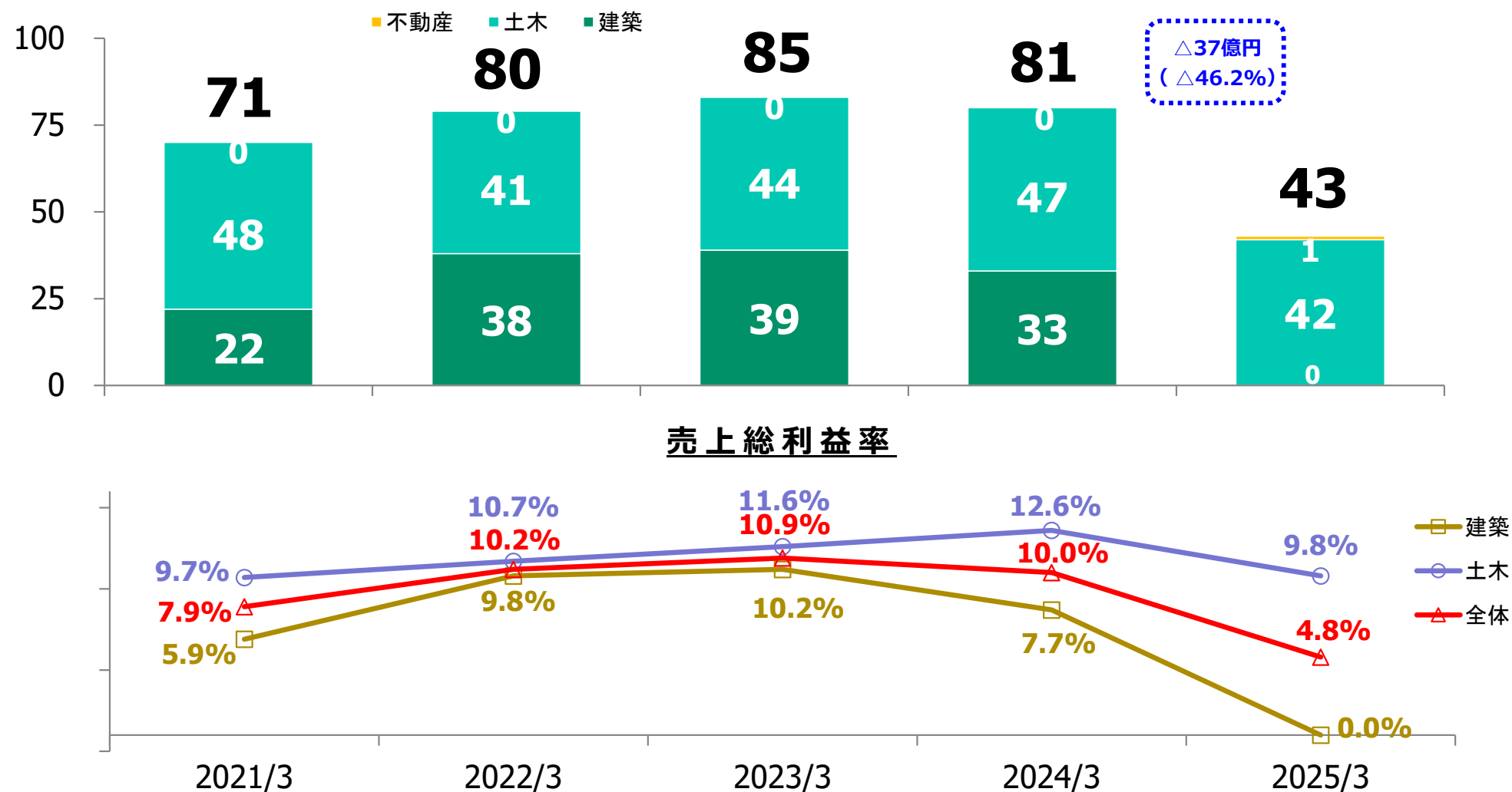


売上総利益

- 建築は民間建築工事の一部で資機材価格高騰にかかる設計変更協議が難航し採算が悪化したことにより大幅に減益となり、土木は好採算工事の減少により減益、全体では前期比37億円(△46.2%)の減益。売上総利益率も全体で5.2ポイント減の、4.8%となった。

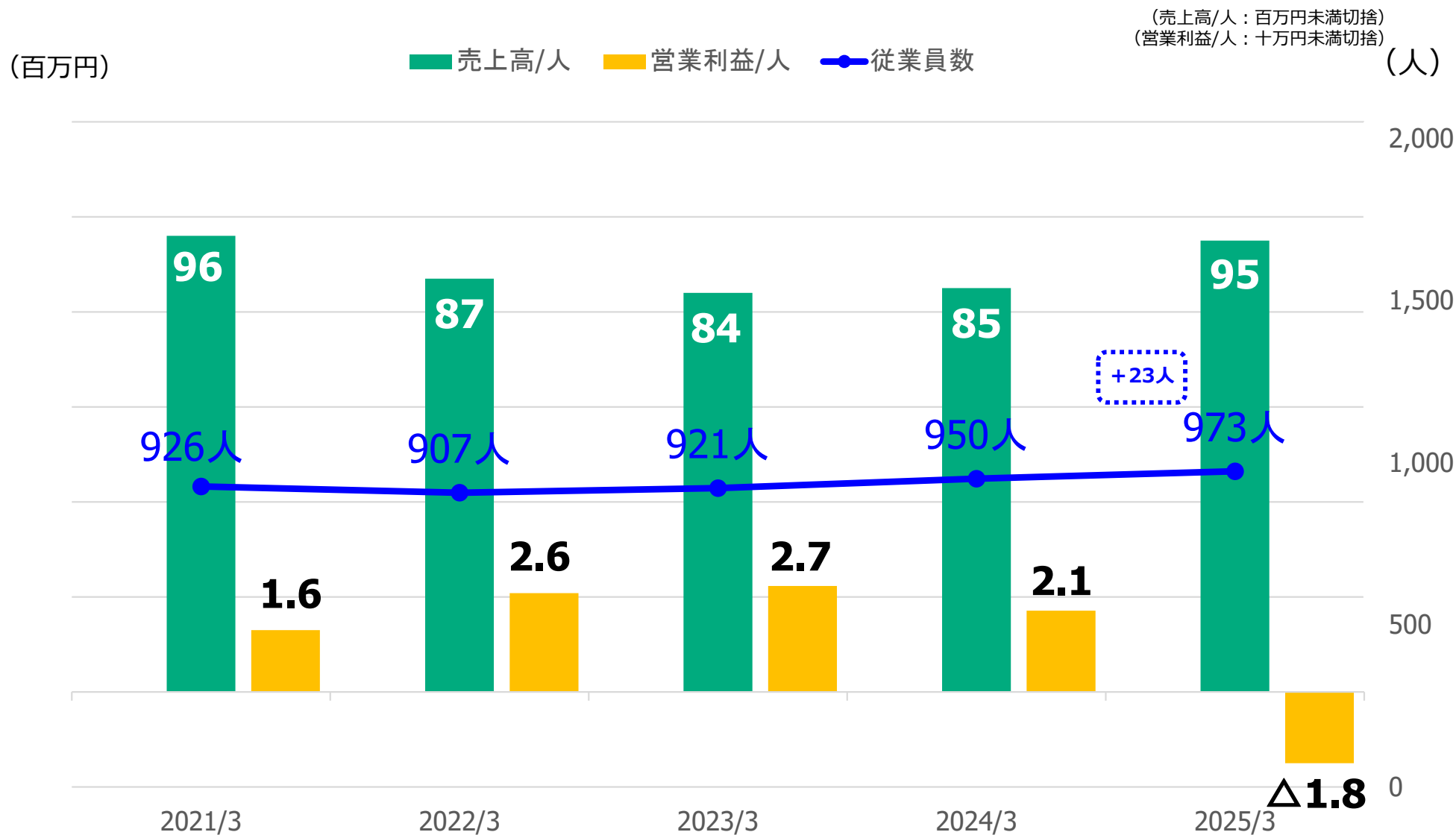
(億円)

(億円未満切捨)



従業員数および生産性

- 期末従業員数は積極的な採用活動等により増加。



貸借対照表

(億円未満切捨)
(単位：億円)

	流動比率 300%以上	2024/3	2025/3	増減額
流動資産		(685)	(703)	(17)
現金預金		23	22	△1
受取手形・電子記録債権		11	-	△11
完成工事未収入金		569	646	77
預け金		37	-	△37
未収入金		35	25	△9
その他		8	9	0
貸倒引当金		△0	△0	△0
固定資産		(77)	(84)	(6)
有形固定資産		(25)	(24)	(△0)
建物・構築物		2	2	△0
機械・運搬具		1	1	△0
工具器具・備品		2	1	△0
土地		18	18	-
その他		0	0	0
無形固定資産		(1)	(1)	(0)
投資その他の資産		(51)	(58)	(6)
投資有価証券		24	23	△1
繰延税金資産		17	25	8
その他		11	10	△0
貸倒引当金		△1	△1	0
資産合計		763	787	24

	2024/3	2025/3	増減額
流動負債	(177)	(233)	(55)
工事未払金	95	121	25
関係会社短期借入金	-	8	8
未払法人税等	4	2	△2
未成工事受入金	47	64	17
預り金	7	17	9
賞与引当金	9	10	0
その他	11	8	△3
固定負債	(45)	(46)	(0)
退職給付引当金	45	45	0
その他	0	0	0
負債合計	223	279	56
株主資本	(537)	(506)	(△30)
資本金	50	50	-
資本剰余金	147	147	-
利益剰余金	340	309	△30
評価・換算差額等	2	1	△1
有価証券評価差額金	2	1	△1
純資産合計	540	508	△31
負債・純資産合計	763	787	24

(自己資本比率)

(70.8%) (64.5%) (△6.3%)

損益計算書

	2024/3	2025/3	増減額	増減率
売上高	81,541	92,459	10,918	+13.4%
完成工事高	81,431	91,843		
不動産事業売上高	109	616		
売上総利益	8,160	4,392	△3,767	△46.2%
完成工事総利益	8,141	4,231		
不動産事業総利益	18	161		
販売費及び一般管理費	6,119	6,224	104	+1.7%
営業利益または営業損失	2,040	△1,832	△3,872	-
営業外収益	210	236	26	+12.6%
受取利息・配当金	199	227		
その他	10	9		
営業外費用	33	70	36	+109.4%
支払利息	33	70		
その他	0	0		
経常利益または経常損失	2,216	△1,665	△3,882	-
特別利益	1,332	0	△1,332	△100.0%
投資有価証券売却益	1,332	0		
その他	0	0		
特別損失	190	10	△179	△94.5
事務所移転費用	110	-		
固定資産除却損	59	8		
訴訟関連損失	17	1		
その他	2	0		
税引前当期純利益または 税引前当期純損失	3,359	△1,676	△5,035	-
法人税、住民税及び事業税	699	283		
法人税等調整額	△1,021	△749		
当期純利益または当期純損失	3,681	△1,210	△4,892	-

(百万円未満切捨)
(単位：百万円)

2026年3月期年度経営計画概要

基本テーマ キーワード

「ソリューション提案型企業への変換」

- 1.成長する用途・分野に特化し、収益力向上を目指す
- 2.生産性の高い用途集中・生産性向上策推進で収益を高くする
- 3.経営基盤強化（早期発見・早期解決できる体制構築）
- 4.全社一丸となって目標達成に向かう組織
- 5.様々な企業やグループとの連携を強化し、強い達成力を持つ企業を目指す

重点施策（事業成長への取組み）

1.成長する用途・分野に特化し収益力強化

- ・ソリューション提案営業、デベロッパー共同事業提案営業の強化
- ・建築：データセンター、物流倉庫（冷凍冷蔵）、工場、リニューアル・コンバージョン等
- ・土木：再生可能エネルギー、高速道路リニューアル等

2.生産性向上による収益力強化

- ・出来高生産性の高い用途へ特化し、DX、BPO(現場業務のアウトソーシング)の推進による生産力向上をはかる

重点施策（組織経営）

- 1.エンゲージメントの向上（キャリアデザインの明示、女性幹部社員の育成等）
- 2.社員と会社が成長できる組織の実現（採用およびフォロー体制の強化、海外技術者の定着支援）
- 3.カーボンニュートラルに向けた取組みの推進（ZEB、ZEHの取組みの推進、再生可能エネルギー関連工事の推進等）

業績予想サマリー

- 受注高は基本戦略の着実な実行により、**増加**を見込む。
- 売上高は豊富な繰越工事の順調な進捗等により**増収**を見込む。営業利益・経常利益・当期純利益は建築の不採算工事を一掃したことにより**増益**を見込む。

(億円未満切捨)

	2025/3期	2026/3期	
	実績	年度計画	前期比増減率
受注高	1,088 億円	1,110 億円	+2.0 %
売上高	924 億円	995 億円	+7.6 %
営業利益	△18 億円	32 億円	-
営業利益率	△2.0 %	3.2 %	+5.2 ポイント
経常利益	△16 億円	32 億円	-
当期純利益	△12 億円	22 億円	-

セグメント別業績予想

(単位：百万円)
(百万円未満切捨)

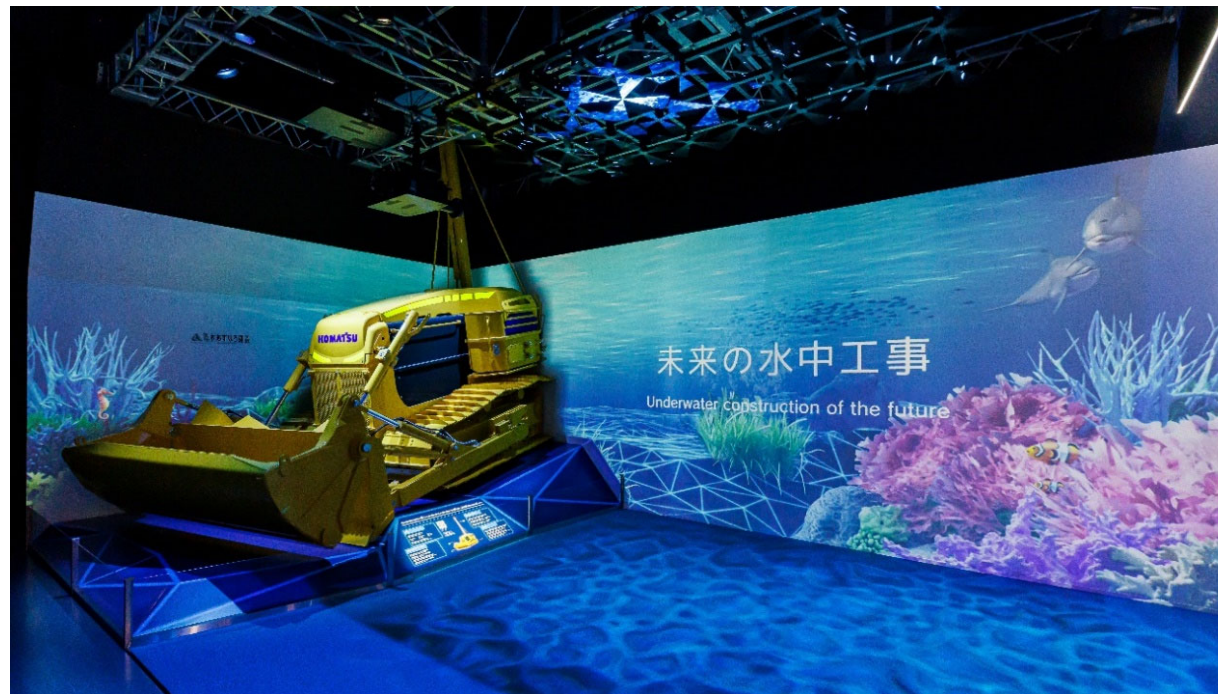
	2025/3期 実績
受注高	108,845
建築	73,690
土木	34,538
不動産	616
売上高	92,459
建築	48,583
土木	43,260
不動産	616
売上総利益	4,392 (4.8%)
建築	7 (0.0%)
土木	4,223 (9.8%)
不動産	161 (26.2%)

2026/3期	
年度計画	前期比増減率
111,000	+2.0%
62,000	△15.9%
49,000	+41.9%
—	—%
99,500	+7.6%
56,000	+15.3%
43,500	+0.6%
—	—%
9,440	+114.9%
(9.5%)	(+4.7 _{ポイント})
4,900	—%
(8.8%)	(+8.8 _{ポイント})
4,540	7.5%
(10.4%)	(0.6 _{ポイント})
—	—%
(—%)	(— _{ポイント})

(%) 値は売上総利益率を示す。

「未来の水中工事」の大阪・関西万博での展示について

当社はコマツと共同で、2025年4月13日に開幕した大阪・関西万博 未来社会ショーケース事業「フューチャーライフ万博・未来の都市」において、水中施工ロボットによる「誰もが活躍・人々の命や暮らしを守る」をテーマに「未来の水中工事」を展示しています。



「未来の都市」パビリオンは、2035年の未来社会をシミュレーション体験できるパビリオンで、博覧会協会と12の企業・団体が組織や企業、業界の垣根を超え、様々な知見と技術で社会課題を解決する類を見ないものです。また、万博会場西側の大阪湾側に位置し、全長約150m、幅約33mと万博でも最大級の規模で、15のアトラクションを展示します。

その中で我々の「未来の水中工事」は、この15のアトラクションのうちの一つであり、『誰もが活躍・命や暮らしを守る「未来の水中工事」』をテーマに、水中施工ロボットのコンセプトマシンを精巧に再現した大型模型や、サンドアートやCG映像、実写を織り交ぜて水中施工ロボットの活躍を描いた3編のショートムービーなどで紹介します。また、展示プレイス入口の床に投射した海辺の映像では、来場者の足跡を水中施工ロボットが追いかけるインタラクティブな演出がある他、頭上の3Dディスプレイで泳ぐ水中生物がメインスクリーンに飛込む演出などにより、リアル感・わくわく感いっぱいの展示内容となっています。



青木あすなろ建設

TakaMatsu Group

ご注意：本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料作成日現在で入手可能な情報にもとづいて作成したものであり、実際の実績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。